

BioJapan 2016に出展

川崎医科大学に産学連携知的財産管理室が開設された2016年度。今年もBioJapanに出展しました。BioJapanとは毎年パシフィコ横浜で開催されるバイオ中心の産学連携活動を目指す国内外の大学や企業が参加する展示会です。本学は、東京医科歯科大学が中心の医学系大学産学連携ネットワーク協議会（medU-net）のブース枠内での出展で、今年は例年よりブースは倍（2間口）、衛生学・西村准教授、スポーツ外傷整形外科学・玉田講師、眼科学1・若宮講師そして肝胆膵内科学・仁科講師の研究シーズをポスター展示するとともに、先生方にはプレゼンもしていただきました。ブースも広く場所も良かったので来場者も多く、持参した川崎医科大学+川崎医療福祉大学の研究シーズ集も準備した全てを手渡すことができました。そして、現場でも帰学後も、発表あるいは掲載のシーズへの企業からの問合せも例年以上に多くあり、有意義な出展でした。

そして、川崎医科大学の活動として、来年2月15日に本館棟8階大講堂で第1回KMSメディカル・アークという展示会を実施します。川崎医科大学が中心になっている吉備

地域産学連携知的財産活用ネットワーク所属の川崎医科大学と川崎医療福祉大学、岡山県立大学そして福山大学の研究シーズや、川崎医科大

学附属病院や12月からの総合医療センター、そして倉敷中央病院にもご依頼して医療現場のニーズの紹介、更に医療機器や福祉・介護・食品などを事業展開されている県内外の企業からの展示もあります。さらに、ランチオンセミナーでは川崎学園が包括協定を結んでいます倉敷市・総社市そして備前市のご当地グルメもお楽しみに。是非、ご来場ください。



（産学連携知的財産管理室室長 大槻剛巳）